

2021 年度 TRP チャネル研究会

—相互作用分子との協働が織りなす生理機能とその破綻による病態発現—

プログラム・要旨集

開催概要

2021 年度 TRP チャネル研究会

—相互作用分子との協働が織りなす生理機能とその破綻による病態発現—

提案代表者： 内田 邦敏（静岡県立大学 食品栄養科学部）

所内対応者： 富永 真琴（生理学研究所、生命創成探究センター）

日時： 2021年5月28日（金） 9：30—17：50（8時45分より受付開始）

形式： Zoom によるオンライン形式

プログラム

9：30—9：40 開会挨拶・連絡事項

セッション1 9：40—10：55

9：40—10：05 演題番号 P01

西本 れい（岡山大学 医学部）

「ミクログリアの温度依存的運動と TRPV4 の関与」

10：05—10：30 演題番号 P02

長岡 巧樹（京都大学大学院 薬学研究科）

「アセトアミノフェンによる線条体 TRPV1 の活性化はドパミン D₂ 受容体遮断薬が誘発する口唇ジスキネジアを軽減する」

10：30—10：55 演題番号 P03

戸堀 翔太（京都大学大学院 薬学研究科）

「MrgprB4 陽性三叉神経に発現する TRPA1 は不快感の緩和を媒介する」

10：55—11：15 休憩

特別講演1 11：15—12：00

井上 隆司 先生（福岡大学）

「受容体作動性 Ca チャネルから始まった TRP チャネル研究」

12：00—13：15 休憩

特別講演2 13：15—14：00

梅田 眞郷 先生（同志社大学）

「膜脂質のダイナミズムから生命現象を探る」

特別講演3 14：00—14：45

濡木 理 先生（東京大学）

「クライオ電子顕微鏡解析で見えてきた膜タンパク質の分子機構」

14:45—15:15 休憩

セッション2 15:15—16:30

15:15—15:40 演題番号 P04

藤村 章子（産業技術総合研究所）

「X線1分子追跡法による TRPV1 チャンネルの3次元運動」

15:40—16:05 演題番号 P05

Nguyen Thi Hong Dung（ExCELLS）

「Structural basis for promiscuous action of monoterpenes on TRP channels」

16:05—16:30 演題番号 P06

岡田 亮（産業医科大学 医学部）

「TRPC6 変異体の機能解析による腎疾患 FSGS 発症時期の推定」

16:30—16:50 休憩

セッション3 16:50—17:40

16:50—17:15 演題番号 P07

松井 毅（東京工科大学 応用生物学部）

「皮膚表皮顆粒層細胞が起こす細胞死における、細胞内酸性化と TRPV3 による制御」

17:15—17:40 演題番号 P08

松本 健次郎（京都薬科大学）

「マウス味覚感受性における TRP チャンネルの関与」

17:40—17:50 次回代表世話人の紹介・閉会挨拶

18:00—19:00 自由討論

発表時間

特別講演：45分（発表30～35分、質疑応答10～15分）

口頭発表：25分（発表18分、質疑応答6分、交代1分）

参加にあたっての守秘義務および注意事項

1. 研究会の発表内容には未発表データも含まれます。開示された研究成果や関連情報に対する守秘義務を遵守し、許可なく開示、漏えい、使用しないでください。
2. 発表資料の録画、録音、画面のキャプチャ保存等は手段を問わず禁止します。
3. オンライン開催サイトの URL、ID、パスワードを他の人に教えないで下さい。同じ研究室から複数の方が参加される場合は、各自が参加登録してください。
4. 同じ研究室であっても、一人1台の PC から参加してください。ただし、個人でカメラや PC が確保できない場合は1台で2名の参加を許可します。プロジェクター等で複数の人が視聴しないでください。
5. 質疑応答や事務連絡などで必要となりますので、カメラとマイクが利用できる環境でご参加ください。準備できない場合はご相談ください。
6. 参加にあたって個室、遮蔽、イヤホンの使用など、発表内容が周囲に漏れないよう配慮してください。
7. プログラムに沿った進行を優先しますので、質問が受け付けられない場合があります。休憩時間や閉会後の自由討論タイムをご活用ください。
8. 接続トラブルへの対応などでプログラムの遅延や変更が生じる場合がございます。
9. Zoom を予め最新バージョンに更新していただくことをお勧めします。参加中に OS やセキュリティソフトの更新が行われるとトラブルの原因となりますので、予め一時停止しておくことをお勧めします。
10. 参加中はスリープ設定を OFF にすることを勧めします。PC の設定によってスリープ設定で強制退室になったり、逆にスリープでも発表音声の流れたりするケースが確認されています。

当日の流れ（全員用）

受付

1. 当日は 9 時 30 分までに受付を済ませてください。会の途中から参加する場合は予め事務局に連絡してください。
2. Zoom リンクにアクセスし、MeetingID・参加用の名前・パスワードを入力してを入力して待機室に入ってください。
3. 許可されたら **マイクが OFF** の状態であることを確認してください。
4. 受付後は退室してもいつでも再参加できます（待機室で承認が必要）。

セッション・自由討論タイム

1. 発表中はカメラとマイクを切ってください。
2. お手洗いなどで離席する場合は PC の画面と音声を切ってください。 **PC のスリープ機能は使用しないことを推奨します。**
3. トラブルが発生しましたらチャットで「00_事務局メイン」に連絡してください。あるいは事務局（0564-59-5287 または 5286 または 5285）に電話してください。
4. 質問がある場合は「手を挙げる」機能をご使用ください。終了したら「手を降ろす」を押してください。質問は全て発表後に受け付けます。
5. 座長から指名が入ったらカメラとマイクを ON にして質問してください。質問が終わったらカメラとマイクを切ってください。
6. 質問できなかった場合は、休憩時間や自由討論時間に質問してください。

休憩（昼休憩、中休憩）

1. Zoom につないだままで構いません。 **PC のスリープ機能は使用しないことを推奨します。**
2. 退室した場合は、セッション開始 10 分前までに待機室に入ってください。
3. チャット機能を利用した特定の参加者同士の会話はいつでも可能です。ただしマイクは使用しないでください。

閉会・自由討論タイム

1. 閉会後はいつでも退室可能です。自由討論時間を設定していますので、演者への質問や参加者同士でのチャットも可能です。

Zoom・ネットワークトラブル

1. Zoom 自体が使用できなくなった場合は、事務局からのメールをチェックしてください。事務局が状況を随時アップデートし、再開方法を指示します。

当日の流れ（座長用）

1. セッション開始の少し前からカメラと音声を ON にしてください。事務局からの連絡・相談が入るので、**チャットウィンドウは常にかいておく**てください。
2. 予定時間になったら演者を紹介してください。
3. 発表中はカメラとマイクを切ってください。
4. 発表が終わる頃にカメラ・マイク・**参加者ウィンドウ**を ON にし、挙手アイコンのついた参加者を上から順に指名して質疑応答を進めてください。ただし、**学生（名称末尾に S）を優先して**指名してください。
5. 発表の持ち時間は「Timer」という名称の参加者のカメラで示します。カウントダウンがゼロになった時点で**質問者が残っていてもその発表を終了し**、次に移ってください。ベルは鳴りませんのでご注意ください。
6. 以降の演者についても 2～5 を繰り返します。
7. 演者にトラブルがあった場合は、状況に応じてそのまま続けるか、発表順を変えるか、研究会の最後に移動させるかを代表者と決めてください。

当日の流れ（発表者用）

1. スライドは可能な限り英語で作成し、発表は日本語でお願いいたします。
2. 画面共有中は参加者側で解像度が悪くなる場合があるため、大きめのフォントや図をお使いください。
3. 第 1 セッションは 9 時 25 分に、それ以降は前のセッションが終了した直後に一人ずつカメラ・マイク・スライド共有のテストをしますのでご協力ください。
4. セッション中はあらかじめスライドを起動しておき、発表の順番になったらカメラとマイクを ON にし、画面共有でスライドを指定してください。
5. 発表中は「Timer」という参加者のカメラで残り時間を表示します。ベルは鳴りませんのでご注意ください。
6. 発表中にトラブルがあった場合は、代表者か座長が対応します。状況に応じて発表順を変更させていただくか、研究会の最後に移動させていただく場合があります。
7. 発表後は座長の進行に従って質疑応答をしてください。対応できなかった質問者がいる場合は、休憩時間および閉会後に自由討論タイムを設けますので、対応をお願いします。
8. 質疑応答が終わりましたら画面共有・カメラ・マイクを切ってください。